

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

I 実施概要

1 実施日 令和3年5月27日（木）

2 実施学年 小学校第6学年・中学校第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

・小学校第6学年：国語、算数

・中学校第3学年：国語、数学

注：「主として『知識・技能』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」とを一体的に問う問題が出題されている。

(2) 質問紙調査

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する児童生徒に対する調査

・学校における指導方法に関する取組等の学校に対する調査

4 実施学校数・参加児童生徒数〔公立学校（京都市含む）〕

	区 分	実施学校数	児童生徒数
小学校	全 国	18,857 校	994,527 人
	京都府	361 校	19,137 人
中学校	全 国	9,320 校	903,585 人
	京都府	166 校	17,237 人

※令和3年5月27日（木）に調査を実施した学校・児童生徒数

5 結果の概要

- 小学校、中学校ともに、全ての教科で平均正答数が全国平均以上である。
- 全国的に見て、臨時休業期間の長さとは平均正答率との間には、相関性が見られなかった。
- 京都府においては、昨年度の一斉臨時休業中に勉強について不安を感じたと回答している児童生徒の割合は、全国とほぼ同じである。一方、規則正しい生活を送っていた、計画的に学習を続けることができたと回答している児童生徒の割合は、全国に比べて低い傾向がある。
- 京都府においては、授業におけるICT機器の使用について、昨年度は使用している割合が全国に比べて低い傾向にあったが、本年度は使用している割合が全国に比べて高い傾向がある。

注：令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、実施されていない。